



2023年 3月16日
第170号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



組織破壊を狙った日勤教育を許さず、 2023JR総連春闘を最後までたたかい抜く緊急集会



2023年3月15日藤沢商工会議所ミナパークにて「組織破壊を狙った日勤教育を許さず、2023JR総連春闘を最後までたたかい抜く緊急集会」を開催しました。本部・熊澤業務担当部長より「2023年度賃金引上げ」交渉の報告、横浜地本・川崎企画組織部長より懲罰的日勤教育に抗するたたかひの報告がされました。また、当該乗務員からは新たな職場でも仲間と共にたたかっていく決意表明がされました。多くの組合員から会社回答に対するの怒り、懲罰的日勤教育・ハラスメントを許さず今後もたたかひを続けていく決意が述べられました。

【会社回答について】

- ベアが出てよかったが、要求には達していないので怒りを感じている。未加入者も東労組の要求に対する満額回答を望んでいた。
- 若手は定昇カット分を返してほしいと思っている。
- 物価も上がっているし転勤で年収も減った。満額回答が必要。
- 会社回答が回答になっていない。会社は社員をただの歯車扱っている。
- 世の中が賃上げの風潮なのになぜ乗らない。+4000円の根拠は何か。ただエルダーも賃上げされたことは良かった。
- 物価上昇に追いついていない。所定昇給額を算出基礎とし、一律ではないところに競争原理を持ち込みたい会社の意図を感じる。
- 職場では工事や備品に湯水のごとく無駄な投資をしているのになぜ満額回答できないのか。
- 会社の社員への対応により見切りをつけて退職する社員がいる。
- 社友会通信でアンケートを元に今回の回答を得ることができたと書かれているが、職場の社友会会員が「アンケートをやっていない」と言っている。嘘とごまかし。
- マスコミなどあらゆる手段を使って嘘を流している。正しい情報を見極める力が必要だ。

【懲罰的日勤教育について】

- 異動して納得してしまっただけではいけない。もっとたたかいて欲しい。
- コンプライアンス勉強会のアンケートで最後に回答者の身元がわかるような入力をしなければいけなかった。このような対応ではハラスメントへの対処はできないのではないか。
- 国府津運輸区での問題は他人事ではない。誰にでも起こりうること。仲間が大切と実感した。今後も仲間との関係をつくっていく。
- 仲間のために人間として支え合うのが東労組のメリット。当該運転士にたたかひの前面に立ってもらい勇気もらった。
- 懲罰的日勤教育が発生するのは経営姿勢の問題。
- 当該運転士が国府津運輸区で乗務できないのはおかしい。JR東日本はハラスメントの加害者が守られ出世していく会社だ。
- ハラスメントを受けたら証拠を残すことが大事だと学んだ。
- コンプライアンス窓口も会社側という事に危機感をもつ。
- 当該運転士と国府津運輸区分会に拍手を送りたい。
- 以前、日勤教育を受けていた若い乗務員が自ら命を絶った。それを忘れてはいけない。
- 全国からの檄が心強かった。会社は何もなかったことにしようとしている。このままではダメだ。今後もたたかいていきたい。

